

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 948 号	氏名	浅井 昭宏
学位審査委員	主 査	江口 晋	
	副 査	小路 武彦	
	副 査	中尾 一彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 前立腺癌患者に対する術前アンドロゲン除去療法(NHT)の前立腺内リンパ管新生に対する影響を検討し、さらに術後生化学的予後とリンパ管密度(LVD)、リンパ管面積(LVA)との関係を軸に考察されており、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 前立腺癌患者に NHT を施行した後に全摘を施行した群と NHT を施行せずに全摘を施行した群間で、術後の前立腺組織のリンパ管の免疫染色を行い、LVD・LVA を定量化し、生化学的予後との関係を検討されている。またそのメカニズムを解明するため、前立腺癌細胞株を用い、アンドロゲン除去後に VEGF 蛋白発現が増強するのを確認しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 NHT 群にて LVD、LVA とともに有意に高値であった。また NHT 群において切除後に有意に VEGF-C D の発現が高値であり、NTH による VEGF-C の上昇が LVD 増加、また腫瘍縮小によるリンパ管拡張を誘導したと考えられた。また LVD 高値, LVA 高値は NTH 群の生化学的予後の有意な予測因子となっていた。</p> <p>以上のように本論文は前立腺癌治療の研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			